




令和 5 年度 施策評価表

施策	1902 景観の保全	施策担当部	都市整備部	部長	嶋原 純治
		施策担当課	都市計画課	課長	帯山 武敏
施策の方針	地域資源を活かした魅力的な景観の形成と屋外広告物の適正な管理を行い、景観の保全に努める。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 街なみが美しく住みやすいと感じる人の割合	%	77.1	78.0 74.0	78.5 69.1	79.0	79.5	80.0	88.0%	86.4%
② 市内の屋外広告物が適正に管理されていると感じる人の割合	%	30.0	37.0 56.4	40.5 55.2	44.0	47.5	50.0	136.3%	110.4%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

令和4年度の実績として、市内の景観が良くなったと感じる人の割合が目標値を下回る結果となった。大村にふさわしい景観の形成を図るため「大村市景観条例」に基づき上小路周辺地区や幹線道路沿線地区等の建築物等の景観誘導に取り組んだが、「開発の進行」や「緑や田園風景の減少」により景観への悪影響を感じる人の割合が増加したことが要因として考えられる。
また、屋外広告物の適正な管理については、目標値を上回る結果となった。要因としては「大村市屋外広告物条例」に基づき違反広告物等の指導を行い、適正な管理を推進したためと考えられる。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	36,003	40,810	42,451	
	国庫支出金	15,492	15,660	18,166	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	14,400	14,600	16,800	
	その他	3,218	3,223	3,553	
	一般財源	2,893	7,327	3,932	
	人件費	21,907	21,150	—	
フルコスト	57,910	61,960	—		

施策の概要（細施策）

190201	地域資源を活かした魅力的な景観の形成	豊かな自然と歴史に恵まれた大村にふさわしい景観の形成を図るため、「大村市景観条例」に基づき、良好な街なみの保全など、景観形成を推進します。 特に、歴史的景観が残る上小路周辺地区は、景観形成重点地区として保全に努めます。
190202	屋外広告物の適正な管理	屋外広告物の適正な管理を行うため、「大村市屋外広告物条例」に基づき、市民や事業者に対する周知啓発に取り組み、違反広告物に対する指導を行います。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

豊かな自然と歴史に恵まれた大村にふさわしい景観の形成を図るため、「大村市景観条例」に基づき、歴史的、自然的な景観の維持・形成に取り組んでいるが、景観に関する市民の意識や理解が弱く、建築物の届出等において、意匠や色彩など景観に関する協力等が得られにくい状況である。

屋外広告物の適正な管理を行うため、「大村市屋外広告物条例」に基づき、市民や事業者に対する周知啓発に取り組み、違反広告物等の指導を行っているが、事業者の理解が得られないことが多く、令和4年度末で屋外広告物の申請率は64.4%に留まっている。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

景観形成の実績に対する顕彰や景観コンクールなどを実施し、市民の景観意識の向上に努める。

令和4年12月の「大村市景観計画」改訂に伴う「大村市屋外広告物条例施行規則」の改正を契機として、屋外広告物の更なる適正化に向け、事業者等に対し広報誌やホームページ等でルールや制度の説明などの十分な周知活動を実施するとともに、未申請者への一斉通知や個別指導を積極的に行うことで屋外広告物の申請率向上を図る。

平成29年度から国の交付金事業を活用した「街なみ環境整備事業（第2期）」を実施しており、上小路周辺景観形成重点地区の歴史的環境を活かした趣のある街なみの形成と保全に取り組むとともに、建築物等の修景整備に対する補助制度の周知を図り、市民や事業者自らの主体性を持った取組を支援する。

令和6年度新規事業

	事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	